2026 年 11 月 5 日

各 位

会社名　　株式会社フレクト
代表者名　代表取締役ＣＥＯ　黒川 幸治
（コード番号：4414 東証グロース）

フレクト、官公庁の「SEABIS 次期システム（V4）物品管理システム設計・開発業務」を受託

株式会社フレクト（本社：東京都港区、代表取締役ＣＥＯ 黒川幸治、以下フレクト）は、デジタル庁が発注する「令和 8 年度旅費等内部管理業務共通システムの次期システム（V4）更改に係る物品管理システム設計・開発業務（基本設計～開発）」を受託したことをお知らせします。

旅費等内部管理業務共通システム（SEABIS）は、各府省庁の旅費、謝金・諸手当、物品管理の 3 つの業務を支える政府共通のシステムです。今回の対象となる物品管理システムは、稼働から約 12 年を経て、UI の陳腐化や改修柔軟性の低下、運用費用の高止まり等が課題となっており、次期システム（V4）では、物品管理業務プロセスの見直しと合わせて UI/UX 向上による業務の効率化が求められています。

フレクトは、デジタル庁が令和 7 年度のサービス・業務企画（業務要件定義）工程を通じて各府省庁と積み上げてきた新システムへの更改に関する検討の資産を最大限に活用し、短期間での確実なプロジェクト立ち上げと、令和 8 年度事業範囲である基本設計～製造・単体テストまでを高い成果物品質での提供を図ります。本業務を通じて、行政職員の限られた時間の有効活用と、国のデジタル予算の適切な運用に貢献します。

受託業務の概要

事業名：令和 8 年度旅費等内部管理業務共通システムの次期システム（V4）更改に係る物品管理システム設計・開発業務（基本設計～開発）

発注者：デジタル庁

契約期間：令和 8 年 8 月 17 日から令和 9 年 3 月 31 日

フレクトの受託内容

- 令和 8 年度事業範囲である、詳細要件整理、基本設計（アプリケーション機能・システム方式）、詳細設計、実装および各種テストを実施します

- SaaS プラットフォーム「Salesforce」を基盤としたシステム構築。令和 7 年度サービス・業務企画（業務要件定義）で各府省庁の知見を得た UI/UX を継承し、作業ガイドや入力項目の動的表示等により、操作マニュアルを前提としない画面の実現を目指します
- ガバメントクラウド（AWS）上でのデータ連携基盤の構築。Infrastructure as Code（IaC）による構成管理を行い、導入時点からクラウドネイティブな構成とします
- 標準 API による疎結合構成と Fit to Standard の徹底により、仕様のブラックボックス化を排除し、事業者間の競争性を確保します
- 生成 AI を活用した設計・実装の効率化。フレクトが過去の AI 駆動開発の知見を本業務に展開します

フレクトの体制

フレクトは、Salesforce の最上位パートナーランク「Summit」の認定を受けており、Salesforce 認定資格取得者 1,860 名、AWS 認定資格取得者 288 名（いずれも 2026 年 3 月末時点の延べ人数）を擁しています。官公庁向けの Salesforce 開発およびガバメントクラウド基盤上の AWS 開発の実績を持つメンバーが本業務に参画します。

フレクトは、本業務を通じてデジタル庁のシステム更改を支援してまいります。行政における内部管理業務のデジタル化のさらなる発展に貢献してまいります。

※製品またはサービスなどの名称は、各社の商標または登録商標です。

業績への影響について

本件が今期業績に与える影響は軽微です。

【IR に関するお問い合わせ】
Mail: ir@flect.co.jp

【IR 情報】
IR メール配信の登録：https://www.flect.co.jp/ir/support/mail/
IR 情報-TOP：https://www.flect.co.jp/ir/
IR 情報-よくある質問： https://www.flect.co.jp/ir/investor/faq/
IR 情報-用語集：https://www.flect.co.jp/ir/investor/glossary/